

歴史のみなとまち「鞆をあるく」

テーマ「大正・明治・江戸の混在する町・鞆」

社会活動委員会 まちづくり部会 下田 卓夫



三浦正幸教授の講演



鞆の町並み見学



班に分かれ、町歩きに出発しました。伝統建築群の町並みの話や、日ごろは見ることのできない歴史的建築の内部が公開され、建築の時代的変遷や商家の特徴などを学びながら歩きました。いろは丸事件で、坂本龍馬と土佐海援隊が宿泊した「浜の家」の室内や、特に龍馬が泊まった屋根裏部屋など、貴重な空間体験でした。

今後も支部や地域の実践的なまちづくりを相互に学び、まちづくり研究の場として「まちづくり学習会」の開催を支援していきたいと考えております。また今春、活動委員会の中に各支部推薦で構成された「まちづくり部会」を発足しました。今後、町づくり手法の事例や町づくり資源の活用方法など、各支部や士会メンバー相互をつなげる役割になればと考えています。

最後に、今回開催に当たっては福山市教育委員会文化課と、福山支部まちづくり委員会の呼びかけでできた支部会員構成による実行委員会の皆様にお礼を申し上げます。第5回のまちづくり学習会は、三次市の「三次町」の予定です。多数の参加をお待ちしています。

まちづくり学習会は、初回平成16年の「上下町のまち並み学習会」から始まり、東広島での「酒部西条・美しい酒蔵のまち並み」、三原での「浮き城のまち・三原」に続き、今年で4回目となります。今回は9月23日、80数名を超える士会会員が参加し、伝統建築保存対象地域の鞆の建築群のまち歩きを中心に行いました。

当日は晴天に恵まれ、海の香りと歴史ある潮待ち港近くの鞆公民館で、伝統建築の第一人者でもある広島大学の三浦正幸教授に「鞆の魅力と失われつつある歴史」と題してご講演をいただきました。鞆のまちの建築、歴史的特徴や魅力が、町並み保存整備推進事業など伝統建築を生かした町づくりにつながる事が大切。そのことで地域が生かされ、貴重な建築群の再生や文化が継承され、これらが相互に利活用される仕組みづくりなど、建築士への役割が期待されていることなどを述べられました。

第2部として、ガイド役の三浦教授、福山市教育委員会文化課伝建担当戸田氏、同文化課指導主事福田氏の3

あなたの作品で表紙を飾ってませんか？

随時、表紙用の写真を募集しています。写真(プリント、ポジ、データ)2～3点を設計概要、設計趣旨(400字程度)と一緒に送ってください。会員の皆様からのご応募をお待ちしています。

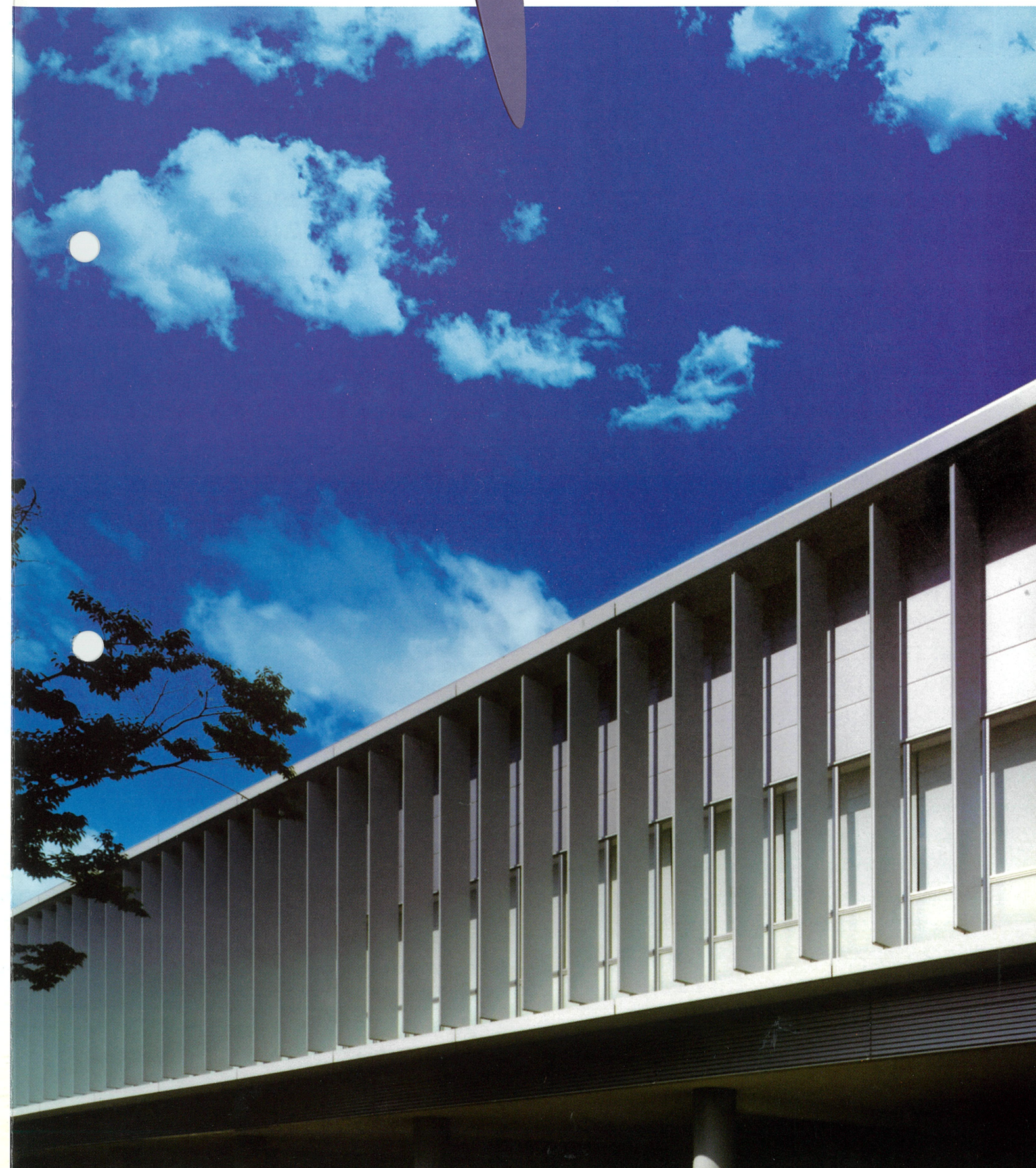


社団法人 広島県建築士会

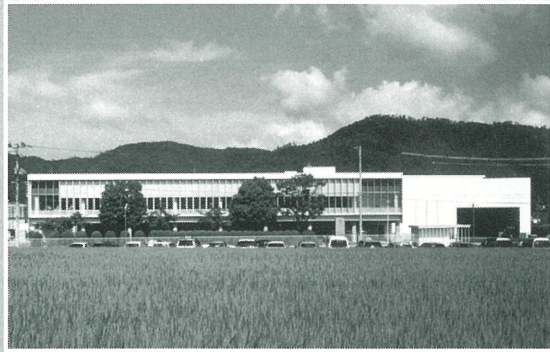
〒730-0052 広島市中区千田町3-7-47 広島県情報プラザ5F
TEL (082) 244-6830(代) FAX (082) 244-3840
mail : info@k-hiroshima.or.jp
URL : http://www.k-hiroshima.or.jp/

MONTHLY 建築士

HIROSHIMA



表紙写真について



「スタンレー電気(株)広島工場」

- 設計・施工／(株)竹中工務店
- 所在地／広島県東広島市志和町奥屋
- 構造・階数／S/F2/P1
- 敷地面積／14,109 m²
- 建築面積／9,843 m²
- 延床面積／12,960 m²
- 写真撮影／(株)竹中工務店

スタンレー電気(株)広島工場は、東広島市郊外の田園地帯にある自動車ランプ製造工場である。今回、既存工場の生産能力が限界に達したのを受け、既存改修および増築による拡張工事を行った。計画に当たっては、管理エリアと大空間エリア（クレーン・トラックヤード）を増築部分に設定し、既存を包み込むような形で増築工事を行うことにより、全体イメージの一新と、操業しながらの既存改修を円滑に行うことを可能とした。

外観は、企業CIの現代的で軽快なイメージを意識しつつ、地元に着目した広島工場の特性を考慮した。民家が点在する田園風景の中での圧倒的なボリューム感を軽減し、近隣に対して開かれたイメージとするため、ルーバー・ガラス・タテリブ角波板を採用し、スケールの分節によるリズム感・格子・緩やか・柔らかな開放性とながりを表現した。

また、既存部分と増築部分の間に設けた光庭・エントランスホール・階段室等、包み込んで隠してしまうだけでなく、既存を生かした再生を行うことでのバリューアップを図った。

「建築士会会員倫理規定」の遵守について

本部事務局

10月15日、再び構造計算書の偽造が公表されました。再発防止に向け信頼回復に全力で取り組んでいる建築士の期待と努力を裏切るもので、慙愧に耐えられません。建築士会員の皆様はこれまで以上に「建築士会会員倫理規定」を遵守し、国民の信頼と期待に応え、安全で安心な建築物の建設に努めてください。

図書を販売しています

本部事務局

- 本部事務局にて販売しておりますが、在庫が無い場合がございますので、「電話：082-244-6830」または「メール：info@k-hiroshima.or.jp」にて、事前に問い合わせください。
- 発送もいたします。品名・部数・送付先を明記したものを「FAX：082-244-3840」又は「メール」でお送りください。折り返し請求書を添えて送付いたします。送金料(広島県内420円)および振込手数料はご負担願います。県外および大量発注の場合はご相談ください。

図書一覧

図書名	一般販売価格(税込)	会員価格(税込)	備考
工事請負契約約款(A4)	1セット(2部) ¥700	—	平成19年5月改正B5版無し
建築設計・監理業務委託契約書	¥1,050	¥525	
建築設計業務委託契約書	¥630	¥315	
建築監理業務委託契約書	¥420	¥210	
木造2・3階建住宅(軸組工法)自主チェックシート	—	改訂中	1セット(士会会員限定販売)
木造3階建住宅構造設計[構造計算書]	—	改訂中	1セット(士会会員限定販売)
構造図集 擁壁	¥2,100	—	
建築士のためのテキスト「小規模建築物を対象とした地盤・基礎」	¥2,100	—	
確認標示板	¥500	—	

工事共通仕様書一覧

商品名	販売価格(税込)
①木造住宅工事共通仕様書(解説付)	¥1,100
②木造住宅工事共通仕様書	¥660
③鉄筋コンクリート造・鉄骨造・補強コンクリートブロック造(補強セラミックブロック造)住宅工事共通仕様書	¥920
④枠組壁工法住宅工事共通仕様書(解説付)	¥1,500
⑤枠組壁工法住宅工事共通仕様書	¥1,070

支部だより
広島支部

2007新企画「日帰り県外見学会を終えて」

見学委員会 吉谷 勝美

識しました。

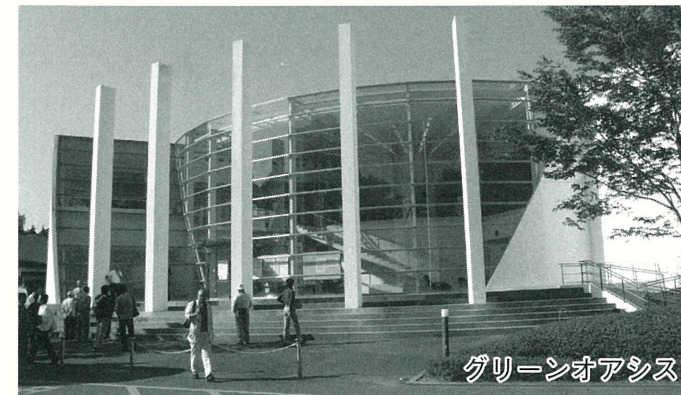
3つ目の見学施設は、屋上に円形劇場を持つクラシック専用ホールである「パストラルホール」(岩国市周東町)です。コンクリート打ち放しの複雑な外観や内部のディテール、インテリアまでも細かく配慮されていました。また、トップライトから入る自然光の織りなす陰影の内部空間に文化性を感じました。

柳井市まで移動し、瀬戸内のおいしい魚の昼食を堪能した後、最後の見学施設へ。周防大島の中央部にある今年8月に開館した「星野哲朗記念館」(大島郡周防大島町)です。青く広がる空と海に囲まれた中であって、風景を阻害しないシンプルなデザインが印象的でした。内部には展示ばかりではなく、参加共感型施設としてカラオケコーナーもあり、美声を披露された方も多数おられました。

帰りのバスでは、和気あいあいと建築論議

(?)に花が咲きました。年代を超えた情報交流は、参加者の目的を同じとする見学会ならではの貴重な体験です。参加された皆様、ありがとうございました。

見学委員会では、今後も魅力ある施設を選択して、充実した見学会を企画していきます。今回参加できなかった方は、次回を楽しみにしててください。



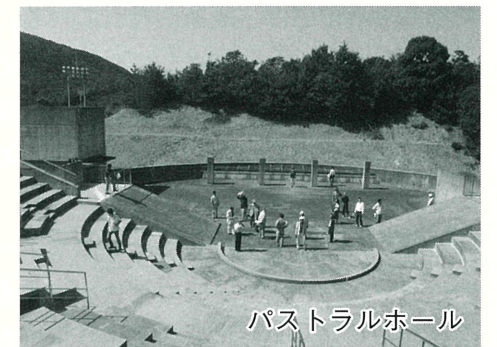
グリーンオアシス

10月6日(土)、透き通る秋晴れの中、山口県方面へ見学会に行きました。今回の県外見学会は、建築士会の皆さんが参加しやすいように、大型バスを利用して日帰りで施設見学を行うといった新しい企画です。当日は3連休の初日であり、参加人数の心配をしていましたが、最終的には36名の参加者がありました。

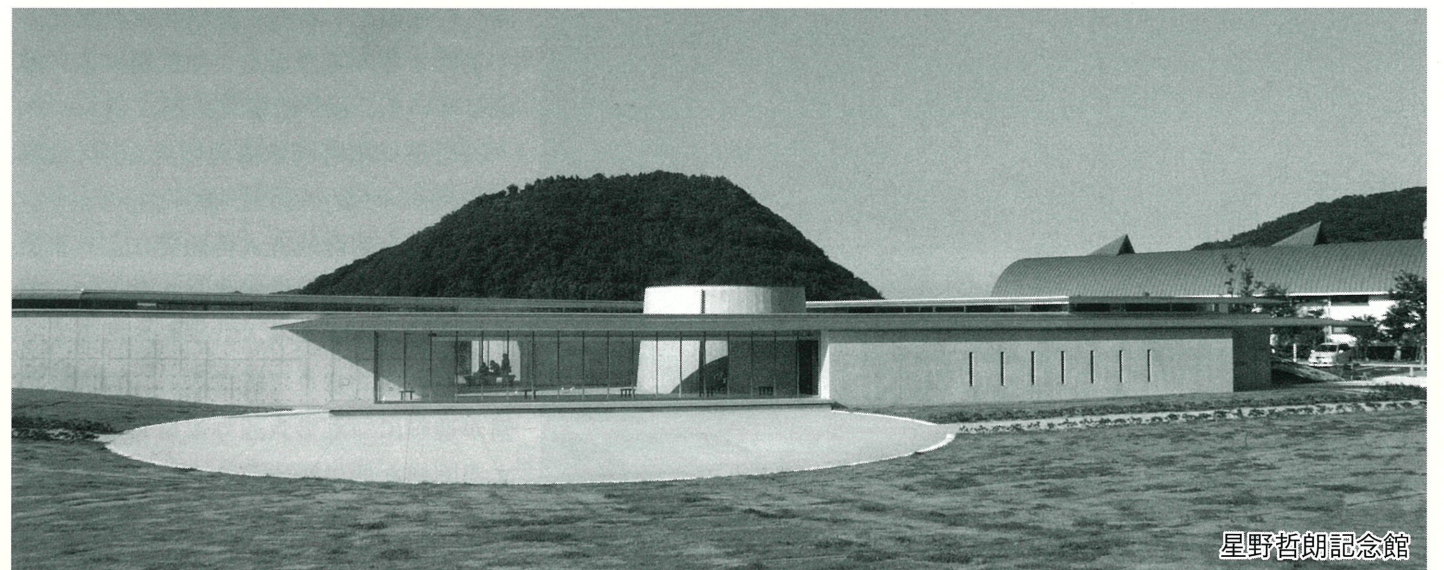
早朝、集合時間前には参加者全員が揃い、皆さんの意気込みを感じました。予定より早く広島駅から大型バスに乗り込み、一路山口県へ向かいました。

最初の見学施設は、ゴミ焼却場の余熱を利用した温泉水プール、温泉、運動施設などを併設した「グリーンオアシス」(岩国市玖珂町)です。山に囲まれて建つ現代的なデザインは、竣工後12年を経ても、白い外観が青空に映えていました。

続いて、軽費老人ホーム「ケアハウス秀東館」(岩国市周東町)です。参加者の平均年齢が高いこともあり、時間を忘れ、熱心な質疑応答が行われました。建築と人を通じて、高齢化社会において何が重要であるかを再認



パストラルホール



星野哲朗記念館

藻谷浩介氏の講演会を終えて

まちづくり委員会 福馬 晶子

広島県建築士会広島支部まちづくり委員会は、「まちづくり研究会」と題し、年に4回を目標に講演会を行っている。2回目の今回は、講師に内閣府、財務省、国土交通省などで数多くの政府関係委員を務められ、マスコミ等でも活躍の藻谷浩介氏（日本政策投資銀行参事役）をお迎えした。

地域の重要課題である「中心市街地活性化」のあり方について、「中心市街地活性化の第二ステージを探る…全国の注目事例と広島都市圏内拠点都市の課題…」と題しご講演いただいた。

現在、中心市街地の衰退化が問題視されているが、実際には、都市の財政が潤っていないから都市が衰退しているわけではないようだ。例えば、自動車産業で栄える愛知県の都市では、駅前が寂れている。市の財政はかなりの高水準だ。なぜ衰退しているのかというと、地権者が土地の利用の促進に必要を感じていないため、広範囲の土地が空き地、もしくは青空駐車場として放っているためだ。

別の九州のある都市では、立派なアーケードと公共空間を造ったが、まちをプロデュースする人がいなかったため、どんどん寂れているという事例もある。

それとは逆に、滋賀県長浜市「黒壁スクエア」は、中心市街地活性化の第一ステージとして成功している事例である。空き店舗になって寂れていた古い町屋を借り受け、店内を改修してモダンにすることにより、現代人にも受け入れられやすい店舗とした。それを何例も続けて



いくことにモデルパターンとなり、真似をする店が増え、集団としてまちのイメージが変わっていく。遠くからの来訪者が増え、市街地が活性化していったというものである。取り組みを始めてから約200軒の店舗が内装を替えるなどリニューアルして、今では年間200万人、一日6,000人が訪れるようになった。空き店舗に新しい人たちが来て店を始めることで、まちがつながり、活気が生まれた。

中心市街地活性化の第一ステージでは、地権者の理解を得ることで、空いている資産を有効活用することが重要である。決して立派なハコモノや駐車場を用意することがいいのではなく、少ない投資の中で遊休資産を生かすことから始めるべきということだった。

第二ステージは、「地権者の協力による建物の建て替えとテナント入れ替え、そしてその横方向への連鎖」である。建築物は高層化して集約するのではなく、中低層で横に連鎖していくことが必要である。

高松市丸亀町商店街再開発A街区は第二ステージの数少ない好事例といえよう。ここでは定期借地方式再開発により事業化し、建築物を中低層化することで、借り入れリスクを抑えて79人という多くの権利者の同意を可能にした。再開発整備が進むにつれて人通りは増えており、また同様な低中層建築物が横につながり始めている。こうした成功の背景にはテナントマネジメントできるプロが必要で、

ここでも地元商店街のキーパーソンが活躍した。

しかし、中心市街地活性化にブレーキをかけるものがある。それは、建築物の高層化と商業床の増進だ。これから人口が減っていくのに、建材の高騰とも相まって事業化リスクが高くなる高層化は、事業の進展を遅くするだけではなく、周辺の沈滞化を進める。できるだけ平面ににぎわいを集積するのがポイントだそうだ。

また商業床に関しては、近年の郊外型大規模店舗などによりどの都市も増加しているのだが、売上高としてはどの都市も減ってきている。広島都市圏の場合でも、1993年～94年で小売販売額はピークとなり、その後は低落の一途をたどっている。売場面積が1990年度末～2003年度末の間に27万3千㎡も増加する中で、小売販売額はマイナス1987億円となり、従業者数はマイナス6300人と低下している。少子高齢化により就労人口が減っていき、所得が下がっていくのに、これからの売り上げが伸びる見込みもないにもかかわらず、大規模店舗を作り続けていっているところに問題がある。いつの時点かで破たんする時がくるのだろう。

以上の内容の講演会が行われたのだが、事実を淡々と述べられても、かなりショッキングな内容だと感じた。私たち建築士も思考の転換をしていかないと、自分が設計・施工した建築物が将来廃虚になってしまうだけではなく、周辺のまちも食っていつってしまう結果になってしまう。これからの市街地の在り方を考えた上で、どのような建築物がふさわしいのかを考えながら、建築の業務に当たらなくてはならないのではないかと痛感した。

平成19年度 第31回ソフトボール大会

交流厚生委員会 秋広 恵子



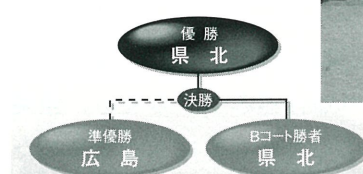
9月15日（土）、台風接近の蒸し暑く変わりやすい天候の中、東広島市中核工業団地グラウンドで、第31回ソフトボール大会が開催されました。朝早くからバスやマイカーに乗り合わせて、県内7支部から集結。大会関係者、応援者を含め、総勢116名となりました

三原支部有木監督の建築士会らしい、「公正かつ“ご安全に”」という選手宣誓でスタート。各支部の年齢はさまざまですが、日ごろの運動不足を感じさせない攻・走・打のファインプレーが続きました。各支部2試合ずつの予選試合の結果、県北支部と広島支部が決勝戦進出。県北支部が日ごろの稲刈り・雪かき・炭づくり(?)での体力づくりにものを言わせて、追いつける広島支部を振り切り、堂々の優勝を飾られました。

日ごろは業務に忙しく触れ合う機会のない皆さんが、声を掛け合い、接戦を制する中で、より深いつながりを持たれたことと思います。試合終了の挨拶とともに、軽い疲労感と日焼けとすがすがしさをお土産に、皆さん無事帰宅の途に就かれました。

担当幹事の広島支部の皆さん、ご苦労様でした。

担当幹事の広島支部の皆さん、ご苦労様でした。



優勝した県北支部チームのメンバー

11 November

- 1 木・CPDデータ登録・専攻建築士登録申請受付開始(～30日まで)
- 8 木・青年部定例会(尾道支部)
- 10 土・第24回建築セミナー(呉地区支部)
- 11 日・県外研修会(呉地区支部)
・島根県立出雲歴史博物館見学会(尾道支部)
- 13 火・青年部定例会(呉地区支部)
- 15 木・秋の研修会(福山支部)
- 18 日・ドリーム・ハウス創り指導(尾道支部)
- 20 火・研修会「安心・安全な住まいづくり」(福山支部)
- 28 水・住宅性能保証制度説明会(県民文化センター)
・女性部会例会(呉地区支部)
- 29 木・呉高専テクノセミナー(呉地区支部)

12 December

- 1 土・木造住宅耐震改修セミナー(県北支部)
・下関研修旅行(三原支部)
- 2 日・下関研修旅行(三原支部)
- 6 木・二級・木造「設計製図の合格発表」(予定)
- 11 火・青年部定例会(呉地区支部)
- 12 水・研修会「住宅のリデザイン」
・青年部定例会(尾道支部)
- 19 水・第2回理事会
- 20 木・一級「設計製図の合格発表」(予定)
- 28 金・仕事納め

